

令和3年度（2021年度）

社会福祉法人 いなほ福祉会

居宅訪問型保育事業 めだか 事業報告書

1、受託施設所在地・利用定員

所在地 三重県南牟婁郡紀宝町鮎田1052-1

利用定員 医療的ケア児1名 利用登録者 医療的ケア児1名

2、事業の目的・方針

保育所での集団生活が困難な医療的ケア児を抱えるご家族の就労保障のために、居宅において保育を行うことを目的とします。

日々健康状態を把握し体調の安定を図るとともに、楽しい遊びや音楽、五感を刺激する活動を通して、子どもの発達を促します（『発達支援』）。またご家族の障がい受容のサポートおよび、今後の地域生活を共に考える『家族支援』、また関係機関と連携を図りながら新しい社会資源を構築していくべく『地域支援』を行います。

3、利用定員と利用実績

利用定員 1名（上段開所日数 合計220日・下段利用日数 合計155日）

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
18日	22日	20日	19日	20日	21日	21日	21日	18日	19日	21日
13日	16日	15日	11日	14日	11日	16日	16日	13日	14日	16日

4、職員体制

職種	定数	現員
責任者	1名	1名
看護師	1名	2名
保育士または介助員		1名
合計	2名	4名

5、営業日及び営業時間

① 営業日：月～金曜日

休業日：祝日・夏期休暇8月12日～15日・年末年始12月29日～1月4日

保育時間：月～金曜日 8：30～16：30

営業時間：月～金曜日 8：30～17：00

6、利用者へのサービス

(1) 日課

8：30～	9：00	健康確認
9：00～	10：00	入浴・水分補給
10：30～	11：30	設定保育
12：00～	12：30	昼食
13：00～	14：00	午睡
14：00～	16：30	水分補給・健康確認

(2) 保育・療育支援

<ねらい>

子どもは1日8時間程、家族と離れ、保育者による配慮と適切な指導や援助を受けながら、生活や遊びを通して、健康状態の安定を図るとともに、乳幼児期の豊かな育ちを保障します。

<内 容>

- ① 健康状態の把握、必要な医療的ケアを通して、体調の安定をはかりました。
- ② 楽しい遊びやうた、五感を刺激する活動を通して、発達を促しました。
- ③ 進路について保護者とともに考え、新たな社会資源の構築を目指しました。

7、諸記録の整備

保育日誌・ケース記録・会議録等、必要書類の整備を行いました。

8、利用者・家族のプライバシーの確保

人権擁護の立場から個人のプライバシーの保護並びに配慮を徹底しました。職員は正当な理由なく、その業務上知り得た利用者及び家族の秘密を第三者に漏らしてはならない。更に職員の退職後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、職員との雇用契約に明記するなど必要な措置を講じました。

9. 緊急時の対応

利用児が怪我や発熱、その他緊急事態が生じた時には、応急処置を行い、速やかに家族に連絡するとともに、責任者に報告しました。また、必要な場合には、救急車を要請し医療機関への緊急搬送等の措置を講じました。

緊急対応することなく、1年間無事保育を終了することができました。

10. 事故発生時の対応

事故が発生した場合は、県・市町村及び家族等に連絡を行なうとともに必要な措置を講じ、事故状況及び事故に際して取った処置について、記録するものとします。

また、万一の事故に備え、損害保険に加入し、賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を適切かつ速やかに行うものとします。

事故なく1年間保育を実施することができました。

1 1、非常災害対策（安全管理）

天災及びその他の災害は発生した場合、職員は利用者の避難等適切な措置を講じました。

- ・避難の際の準備物をご家族と共にそろえ、いざという時に備えました。

1 2、虐待防止・人権擁護のための措置

利用者の人権擁護・虐待防止等に対応するため、責任者及び推進委員の配置、相談窓口の設置等苦情解決体制に整備、職員に対する研修その他の必要な措置を講じました。

虐待防止責任者 細野 桂子

虐待受付担当者 下口 公未佳

1 3、苦情解決のための措置

利用者家族からの苦情に迅速かつ適切に対応するため、相談窓口の設置その他の必要な措置を講じました。

苦情解決責任者 細野 桂子

苦情受付担当者 下口 公未佳

第三者委員 紀宝町役場福祉課課長

苦情案件は発生しませんでした。

1 4、職員（援助者）の援助技術の向上

- (1) 職員会議の実施（年6回）
- (2) 研修の実施
 - ・連携機関 などでこの見学研修（年1回）
 - ・医師・看護師からの支援（年5回）
 - ・みえる輪ネット研修会（年1回）

1 5、事務・財務管理

- (1) 会計処理の適正化をはかりました
- (2) 請求事務の効率化・適正化をはかりました
- (3) 経費の省力化をはかりました

1 6、連携機関

三重大学小児トータルケアセンター

医療型障がい児入所施設 済生会 明和病院 などでこ